七金華
変化

鶴亭秀賀作

巻

へ13
3689
4

門へ13
號3689
冬 4

きんたろう四季の内

碧海秀峯
梅蝶樓國貞
辛酉春新刻

金松堂梓

東作

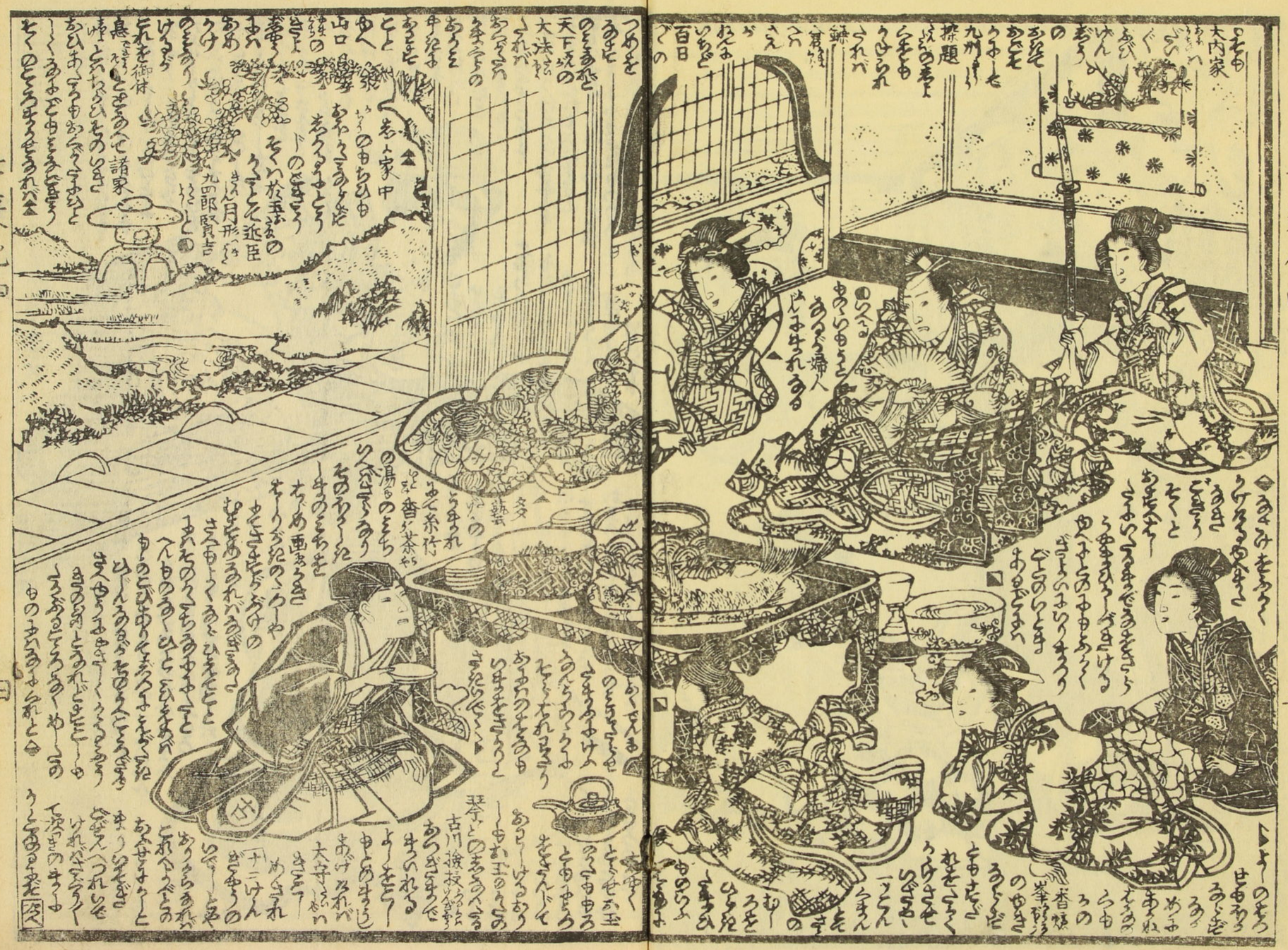
夫大内義弘へ。足利家ニ有功の柱臣ゝなれど。一端の怒ニ乗じて逆意ヲ企て了得の名家も永く断絶做さんとせしが。其子新次郎を先再家國を興せ。絆へ。諸書ニ顕然ゝなれば人皆能知所ゝなれど。此本ハ名のみ借初の作り設。譚ゝなれば。従来年月時日も不遵。雖而強て女談ゝもあゝなれ實説ゝ出ゝ虚言ゝなれば偽人有て空言ゝと問へば左ニあゝ正説ゝと問へば左ニあゝと答ゝ而已

萬延辛酉春發兒

鶴亭秀賀誌

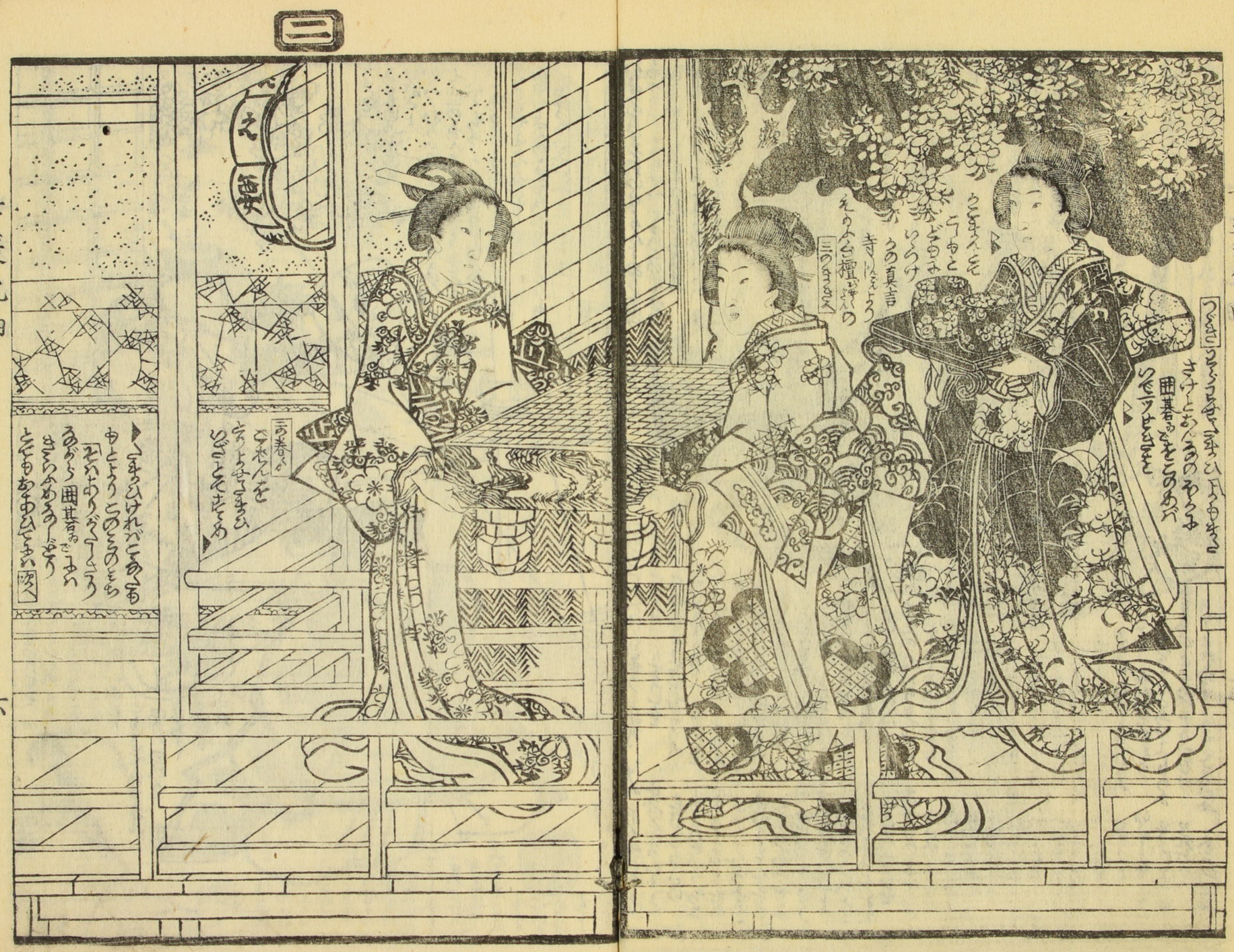
○猫間彈正の遺子讐者
緑之市
縁十三歳を一期として
大内之久殿の刀下の鬼となる
○周防國山口の城主
大内権久多々良義弘
流石の明君
うつとりくど
妖魔の爲ふ
緑の市を
殺し
玉ふ
○大内家の忠臣
小森半之亟晴光

琴指南
古川
撥技
大内家の侍臣
月形九四郎
賢吉



つぐ記 太守さまいちろうくとめさまつてたとしハ
古

大


二
三の巻
三の巻

大

十

萬延二辛酉年新版目次

名長紙曽我物語　初　鳥水春作　二　梅蝶樓國貞画
佐崎名鄽音武術譽　初　桑亭西馬作　二　宮本　三　同　画
三世相錦繍文章　初　柳水亭種清作　二　切　青川國郷画
蝶鶯裙野春月兩丹　初　二　柳亭種久作　一恵齋芳幾画
金花七變化　初　二　鶴亭秀賀作　三　梅蝶樓國貞画

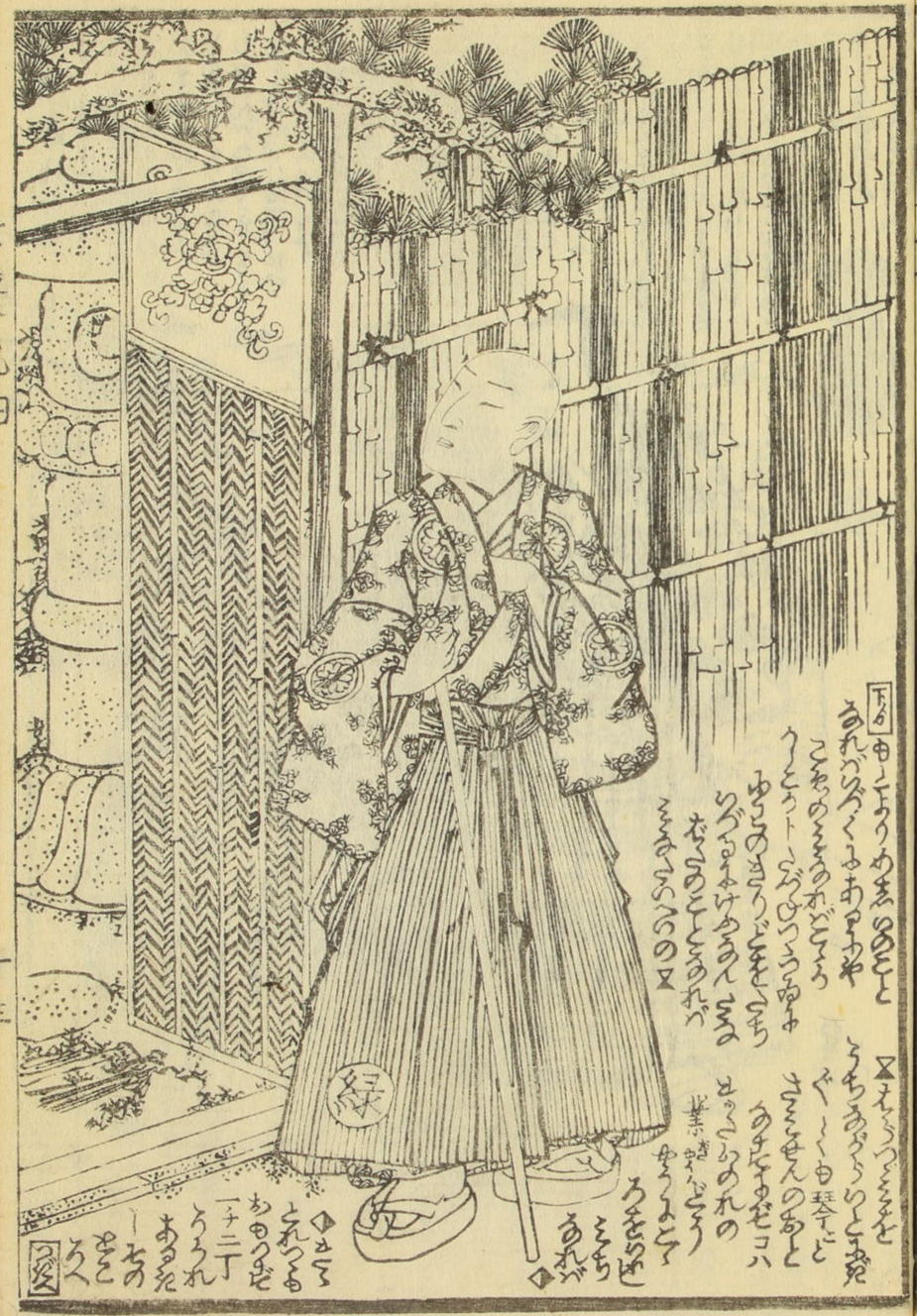
武田膏　江戸人形町通　敗毒客三郎遺製長
大貫百丸　小貫二十銅　中貫四十八銅
神仙一角丸　氣つけ薬　小児疳虫　諸病どく
調合所　上総國　東金町　大野傳兵衛
地本　江戸國横山町三一目　白屋　辻岡屋文助
仲綿　白　金松堂

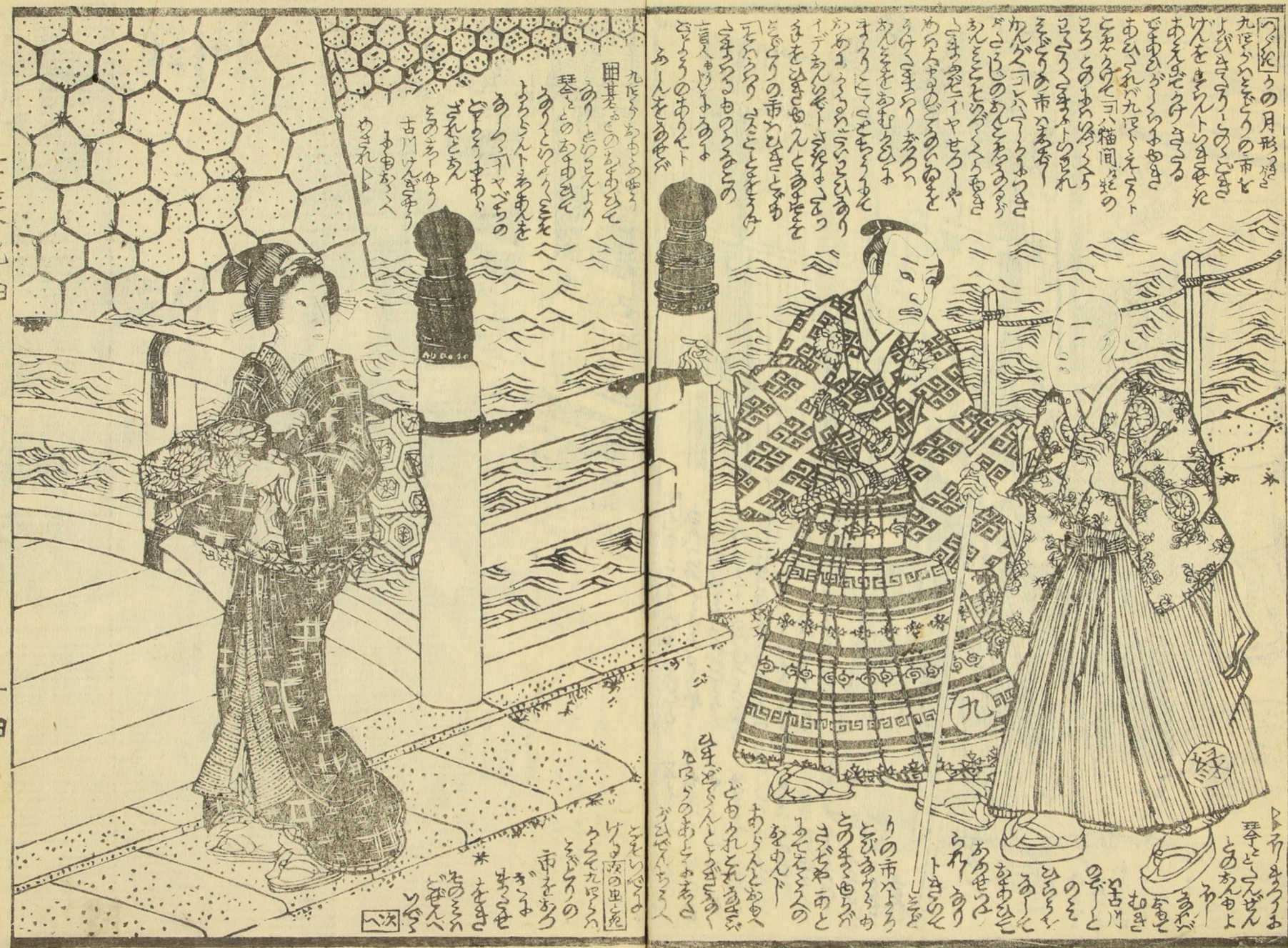
歌川國貞画

下の巻

金壱七変化
四海平穏
物産繁賀
武川玉貞画

辛酉新史
金松堂梓

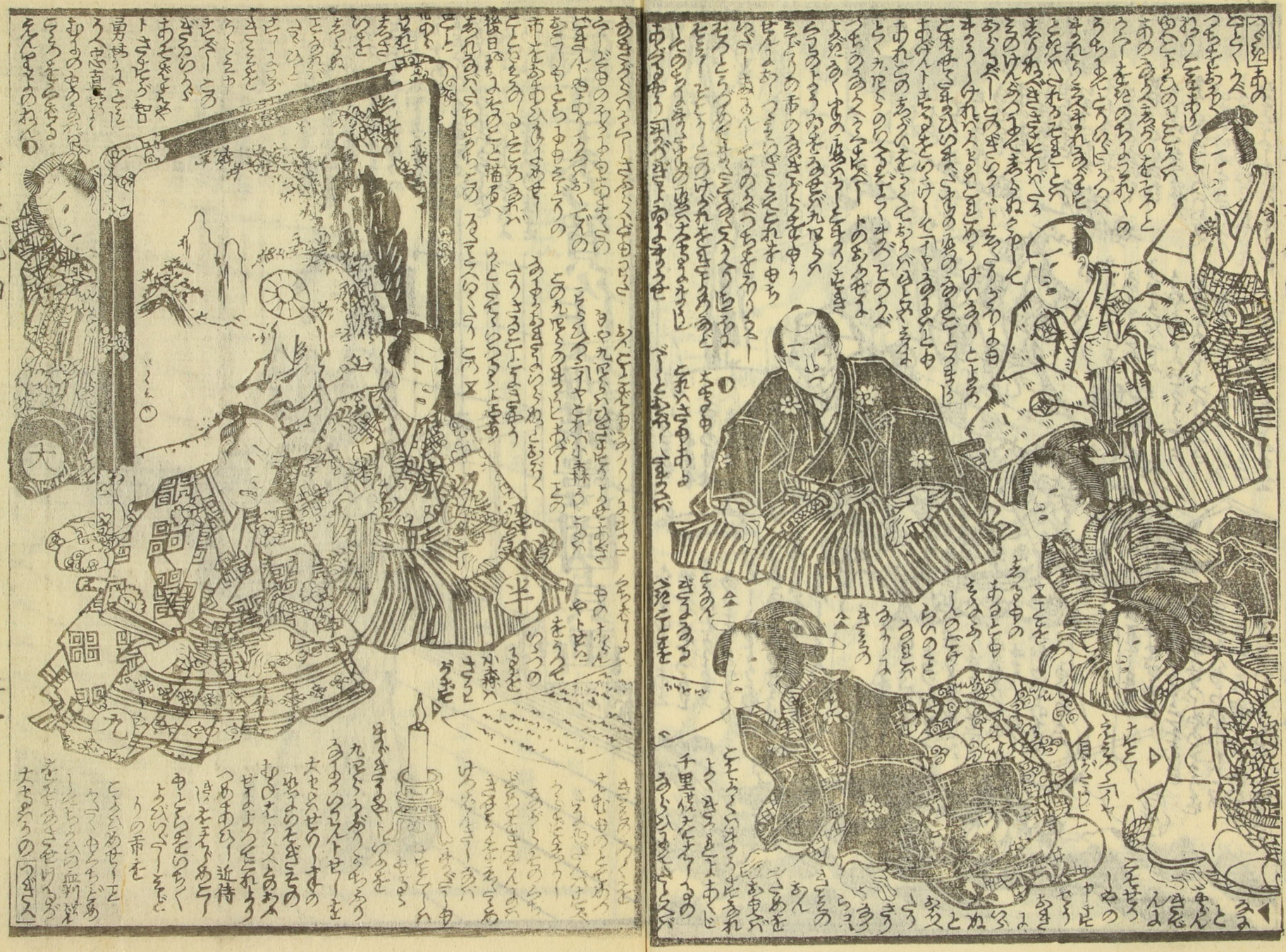



九
緑

九
大
半

王

九
半
大



つぐねとそだろの市ぢたのきよ色
古川けんぎ爪うの
こそをいくこせんと
のこまくこの小森ものれ
めとこ一こそくるもの
ゆちゆとあんとくこの
ゆのさくらしどまくゆや
九代ろいはをそいの「アヤ
そのぶいはとしゆあまのぶ
ゆくせろーやくまるろせ
らくさくるぶーいろくせろ
ろちちー られよろくとり
ゆくろいんべーイザまろ
まはところろれをゆにませ
のくとろいくもごまろ
おやくとゆるゆぶまくせ
ところくをやあみむろの
ひゆくーゆ刃ろくくく
カ刃チあやくーくく
ゆ五くん六くんひまろくた
ゆるくん待くるまいろくふに
とくとくろ ちんのゆどひとくよ
わろくふゆげくをまろりゆまに

鶴亨秀賀作 梅蝶樓國貞画

萬延二 辛酉年春新板目録

柳幕魁双紙 為永瓢長作 尾迫一寿齊國貞画

都鳥汀松若 柳水亭種清作 三切 同画

初紅葉小倉色紙 初切 同作画

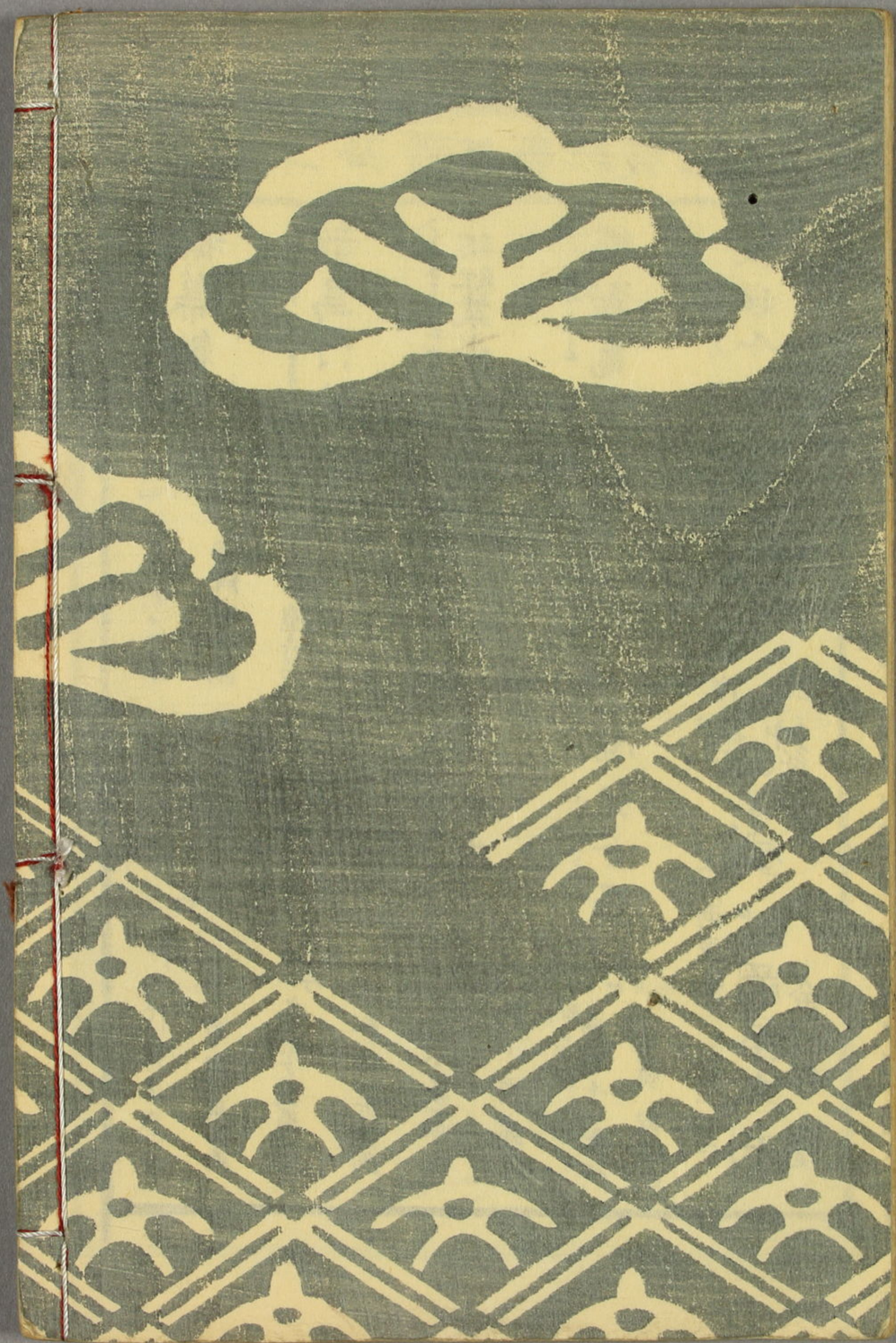
蝶鵆亀山染 初切 同作画

義経千本櫻 初切 同作画

金泗水丹石川 花笠文京作 二切 一勇齊國芳画

縁綱詞花咲丹 半文字英寿作 二切 一秋齊芳宗画

當利生一網丹 為永瓢長作 二切 歌川國盛画

濡衣女鳴神 一瓢長改 為永千童作 三 一寿齊國貞画

地本問屋 江戸両國横山町三丁目 紙問屋 辻岡屋文助 金松堂